

2章

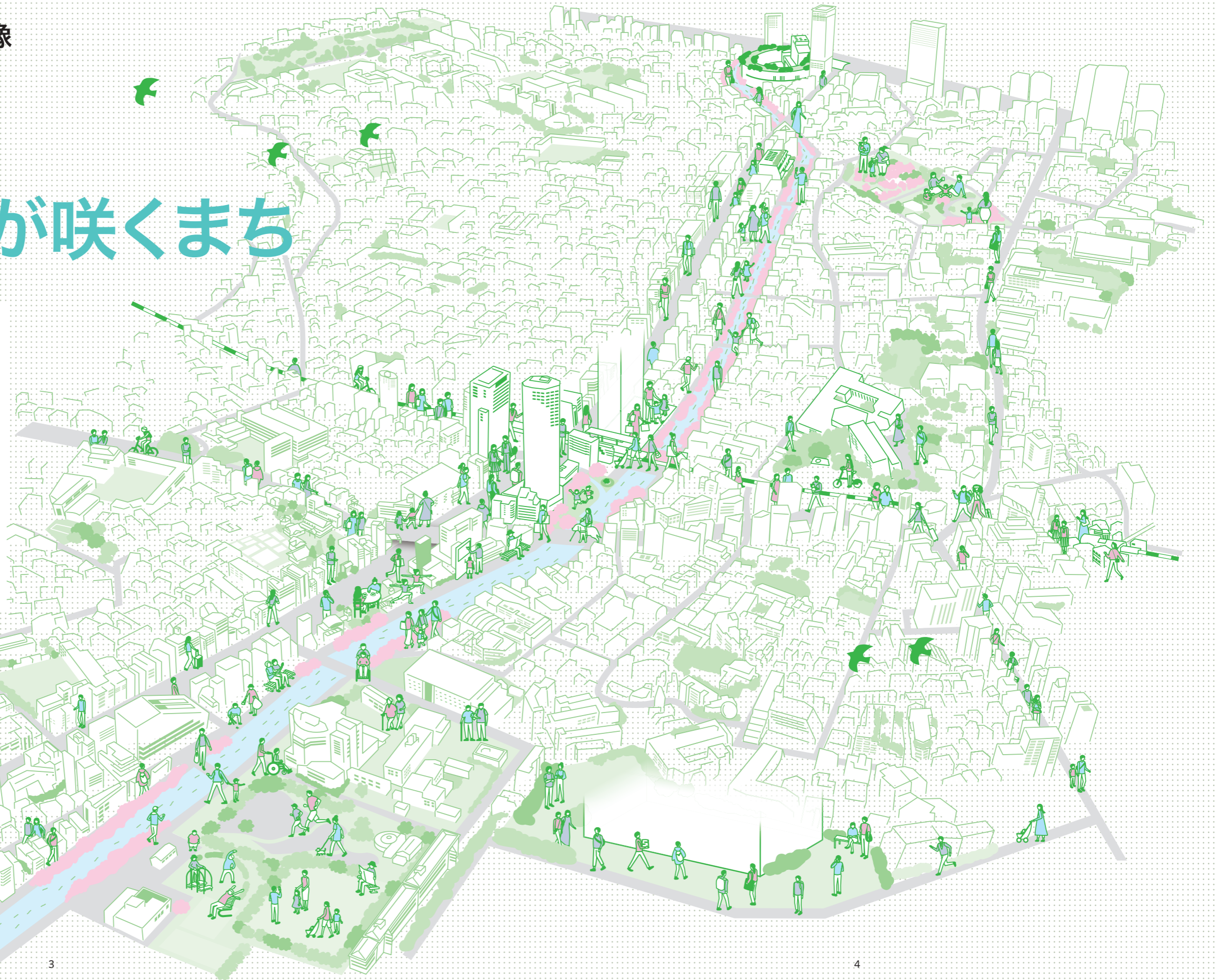
ナカメの将来に向けたまちづくりの方向性

1 ナカメの将来像

中目黒、 つながりが咲くまち

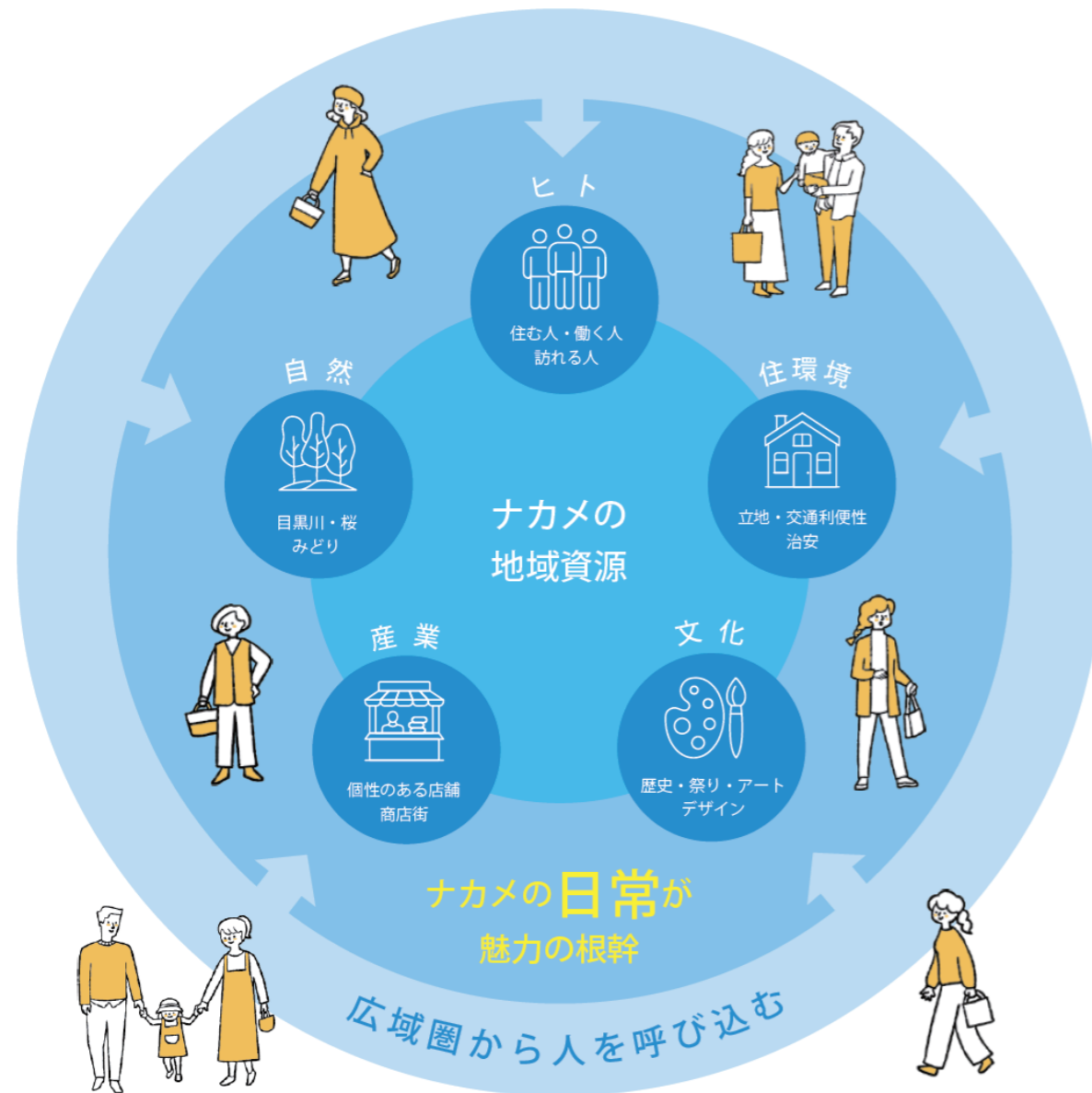
新しさやおしゃれさを感じる中に、どこかゆとりや落ち着きのある雰囲気をもつナカメのまちで、住む人、働く人、訪れる人が地域内外の様々な人と出会い、交流し、人の優しさや温かさに触れ、日々の暮らしの中で楽しみや喜びなどを感じられる多様な魅力が調和する。

そんな日常の実現に向けて、ナカメが誇る独自の資源を活かし、多様性あふれる文化を発展させ、様々な人がつながり、幸せな交流や創造が咲くナカメをつくっていきます。



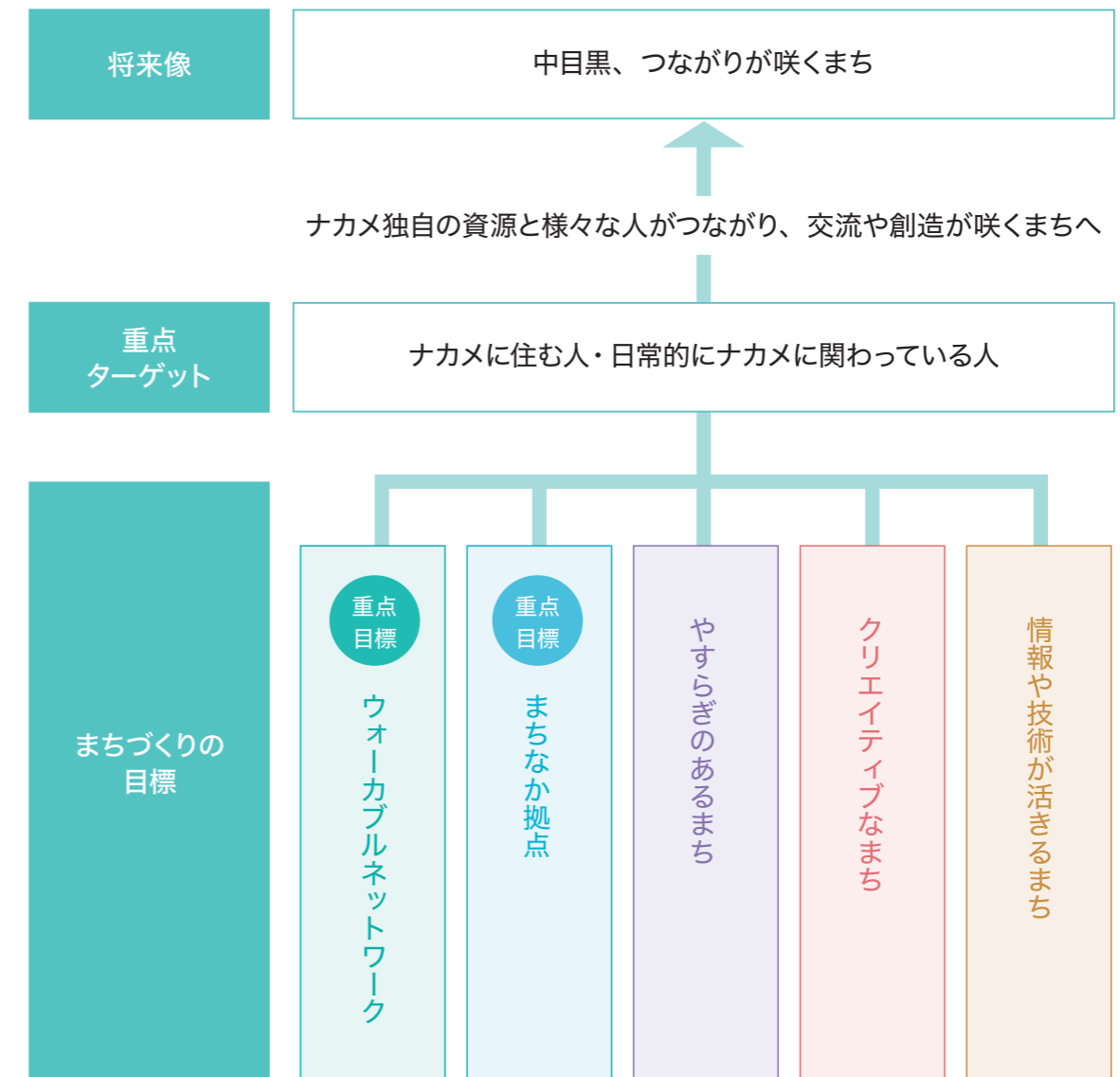
2 ナカメの魅力

- ナカメには多様な地域資源があり、その魅力が多くのの人々を惹きつけ、ナカメらしい落ち着きや心地よい賑わい、クリエイティブな感性を刺激する雰囲気や環境を生み出しています。
- このナカメの「日常」こそ、まちの魅力の根幹であると考えられ、それがブランド力となり、広域圏からも人を呼び込むことに繋がっていると考えられます。
- これらを踏まえて、将来に向けたまちづくりを進めることが求められています。

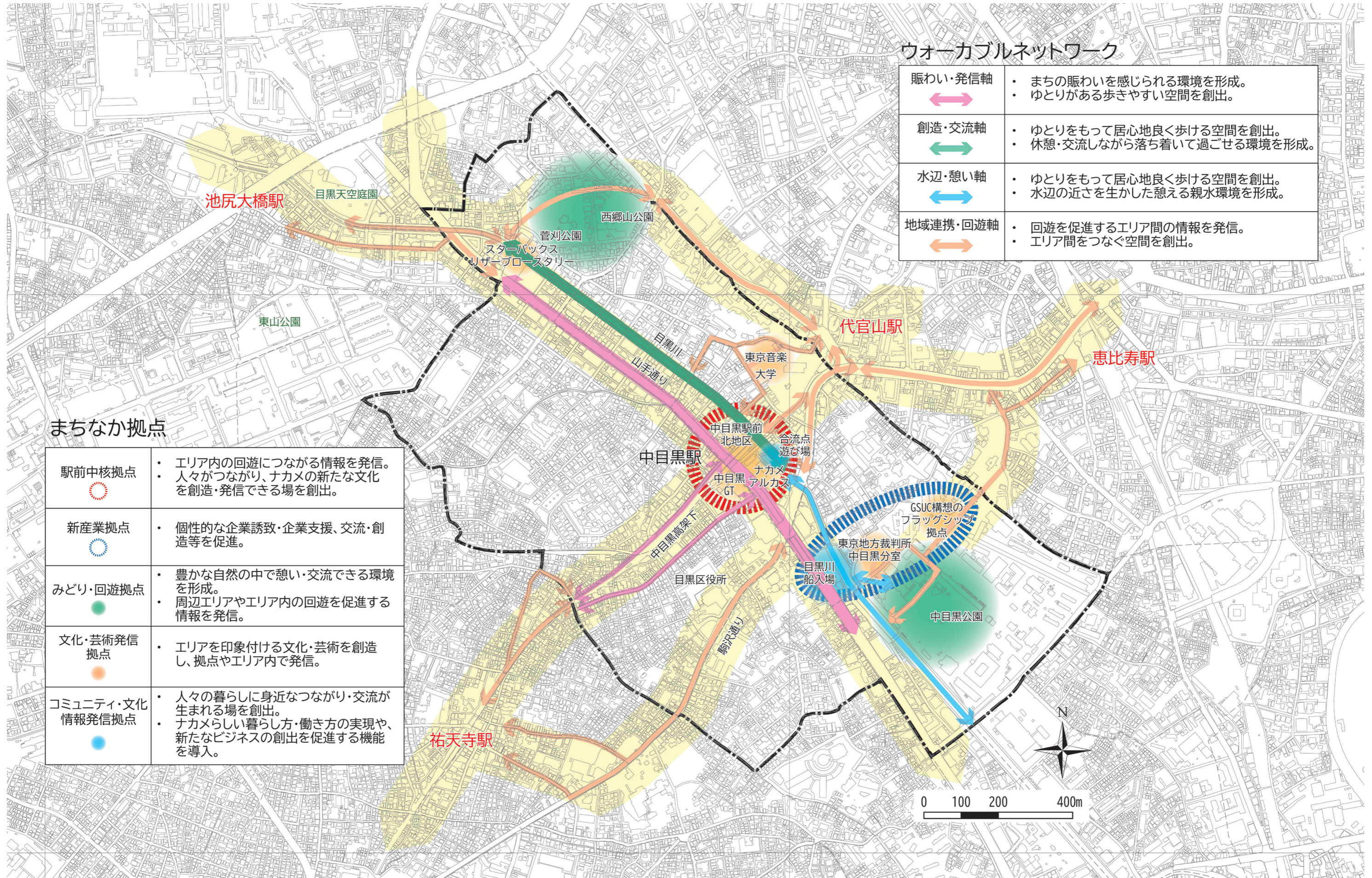


3 まちづくりの方向性

- ナカメの魅力を活かして、ナカメに住む人・日常的にナカメに関わっている人にとって魅力的なまちを目指すことを前提に、重点ターゲットとしてナカメ独自の資源を活かし多様な文化を発展させるとともに、様々な人がつながり、交流・創造するまちづくりの方向性として、以下、5つの目標を掲げます。
- このうち、ナカメのまちなかを歩いて巡りたくなるようにエリア内外の魅力をつなぐ「ウォークアブルネットワーク」と、ひとやまちの魅力に出会える拠点をつくる「まちなか拠点」を、「重点目標」として位置付けます。



4 まちづくり方針図



ウォークラブルネットワーク

賑わい・発信軸 ↔	<ul style="list-style-type: none"> まちの賑わいを感じられる環境を形成。 ゆとりがある歩きやすい空間を創出。
創造・交流軸 ↔	<ul style="list-style-type: none"> ゆとりをもって居心地良く歩ける空間を創出。 休憩・交流しながら落ち着いて過ごせる環境を形成。
水辺・憩い軸 ↔	<ul style="list-style-type: none"> ゆとりをもって居心地良く歩ける空間を創出。 水辺の近さを生かした憩える親水環境を形成。
地域連携・回遊軸 ↔	<ul style="list-style-type: none"> 回遊を促進するエリア間の情報を発信。 エリア間をつなぐ空間を創出。

まちなか拠点

駅前中核拠点 ●	<ul style="list-style-type: none"> エリア内の回遊につながる情報を発信。 人々がつながり、ナカメの新たな文化を創造・発信できる場を創出。
新産業拠点 ●	<ul style="list-style-type: none"> 個性的な企業誘致・企業支援、交流・創造等を促進。
みどり・回遊拠点 ●	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然の中で憩い・交流できる環境を形成。 周辺エリアやエリア内の回遊を促進する情報を発信。
文化・芸術発信拠点 ●	<ul style="list-style-type: none"> エリアを印象付ける文化・芸術を創造し、拠点やエリア内で発信。
コミュニティ・文化情報発信拠点 ●	<ul style="list-style-type: none"> 人々の暮らしに身近なつながり・交流が生まれる場を創出。 ナカメらしい暮らし方・働き方の実現や、新たなビジネスの創出を促進する機能を導入。